

クイックスタートガイド

PIX-E5 / PIX-E5H

Recording Field Monitor



VIDEO  **DEVICES**

ようこそ

Video Devices PIX-E5 / PIX-E5H レコーディング・フィールドモニター を御購入いただきありがとうございます。PIX-E シリーズは、多くの先進の機能を持ちながら耐久性に優れる録画機能付きモニターです。

PIX-E5 は HDMI と SDI 入出力を持ち、PIX-E5H は HDMI 入出力のみを持ちます。このガイドブックでは、両方のモニターについて説明しており、SDI に関するようないくつかの機能は、PIX-E5 のみに適用され、PIX-E5H には適用されません。

数	アイテム
1	PIX-E5 or PIX-E5H recording field monitor
1	PIX-E PSU (power supply unit)
1	USB boot cable
2	Warranty card
1	PIX-E5 / PIX-E5H Quick Start Guide
>1	Video Devices promotional stickers

このクイックスタートガイドは、購入してはじめて製品を使い始めるにあたって必要な手順を紹介しています。また簡単な機能の概要も紹介されています。

Read and Register...

Full User Guide:



www.videodevices.com/download/guides/PIX-E5ug_en.pdf

Register Your Product



www.sounddevices.com/support/registration/

Email Support:



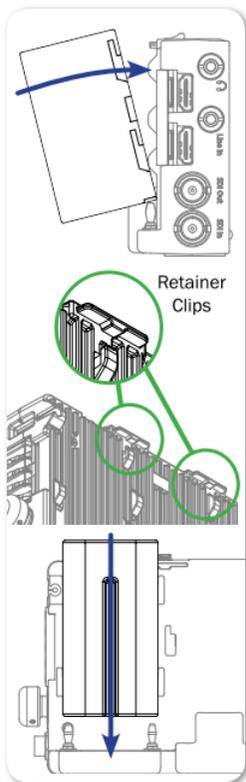
support@sounddevices.com

Call Support:



1-608-524-0625
1-800-505-0625

1. 電源の接続



PIX-E用電源は2系統あります。PIX-E用のAC電源アダプターを使って、外部DC電源ソースに接続する方法と、Sony®製Lシリーズなどの、リムーバブル式のリチウム・イオン充電電池を1個、または2個を装着する方法の2つがあります。(電池は製品に同梱されません。)

Lシリーズ・バッテリーを装着するには:

1. PIX-Eも2つの金色の電源ピンの位置に合わせて、バッテリーの2つの端子の位置を合わせるように位置を調整します。
2. リテーナークリップを押し込んでから、バッテリーにピンが差し込まれるようにスライドさせます。リテーナークリップがバネで押し出されて、バッテリーが固定されます。

バッテリーを取り外すには:

- リテーナークリップを押し込んで、バッテリーをスライドさせて抜き取ります。

外部電源を使用するには:

1. PIX-E用のACアダプターのプラグをPIX-EのDC入力に接続します。
2. プラグ抜け防止のワッシャーを回して、PIX-Eに固定します。
3. ACアダプターを壁のACコンセントに差し込みます。

PIX-Eの電源スイッチを入れて起動後、OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)には、現在有効な電源ソースの電圧レベルが表示されます。

2. 電源を入れる

PIX-E の電源を入れるには:

- 電源スイッチを右へスライドします。

緑色の Power LED が点灯し、起動中はディスプレイに Video Devices のロゴが表示されます。



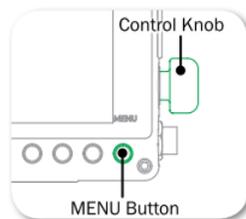
備考:PIX-E は、パワフルなプロセッサとオペレーティング・システムを持っており、最初の起動には 45 秒を要します。しかし、QuickBoot™機能により、次回からの起動はわずか数秒です。QuickBoot を使用するには、電源ソースが接続されたまま電源スイッチで PIX-E を On/Off してください。

3. タッチスクリーンとボタン

PIX-E のユーザーインターフェースは、オプションを選択する上で2つの理想的な方法を提供します。すばやく調整するためのタッチスクリーン機能か、画面に指紋を残すことなく調整することのできる、ソフトキーボタンとコントロール・ノブによるフィジカルな操作系をユーザーが選ぶことができます。

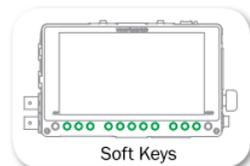
メイン Menu を見るには:

- MENU ボタンを押します。その後、タッチスクリーンかコントロール・ノブでメニュー内を移動することができます。



備考:MENU ボタンを押すと終了してライブ・ビューに戻ります。

MENU と ALT ボタンの間には 11 個のソフトキーボタンがあり、キーの上に各ボタンの現在の機能がテキストで表示されます。それらの第一義の機能は、(ピーキング、ゼブラ、スコープのような)モニタリング・ツールの on/off をトグル切替します。しかし、ALT ボタンにより、File List と Audio screen と REC/PLAY 用のトランスポートコントロールに、ソフトキーボタン群を切り替えることができます。



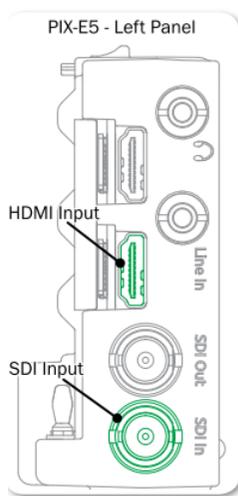
MENU ボタンかソフトキーボタンを長押しすると、映像イメージにスーパーインポーズされるメニューが表示され、共通で使用される設定にアクセスすることができます。詳細は後述の ”8. Using the Monitoring Tools” と PIX-E5 ユーザーガイドの “Menus and Navigation” を参照ください。

モニタリングとソフトキーファンクションのボタン機能をトグル切替するには:

ALT ボタンを押します。ボタンの上に表示されているソフトキー・ラベルが変更され、現在のファンクションが表示されます。

備考: ソフトキー・ラベルは、第一義と第二義の両方が表示されます。ソフトキー・ラベルやインフォメーション・バーなどの OSD 表示要素は、隠す/残すために、Display ソフトキーを使用してください。

4. ビデオ信号の接続



Input/Output は PIX-E の左側面に位置します。PIX-E5 に有効なポートのタイプは、PIX-E5H のそれとは異なります。PIX-E5(左図)は、HDMI か SDI のビデオソースを録画できます。PIX-E5H は HDMI のみ対応するデバイスです。

PIX-E が完全に起動後、有効なビデオ入力信号がフルスクリーンで表示されます。

ビデオ信号を接続するには:

1. カメラの適切な出力コネクタにビデオケーブルの一端を接続します。
2. ケーブルのもう一端を PIX の適切な入力へ接続します。

入力ソースを選択するには(PIX-E5 のみ):

1. MENU ボタンを押します。
2. コントロール・ノブを使用して、Video I/O > Video Input を選択します。
3. Video input で SDI か HDMI を選択します。

5. オーディオの設定

PIX-E5Hは、最高4チャンネルのオーディオ(Line in と HDMI)を QuickTime (.mov) ファイルに録音することができ、3G-SDI 入力を利用すれば、最高8チャンネルまで録音できます。ユーザーは、audio setup 画面で、トラックアーム、トラックネーム、インプットソース、ゲインレベルを調整・変更することができます。

オーディオを設定するには:

1. ALT を押して、ソフトキーの役割に AUDIO が表示されるように変更します。
2. AUDIO ソフトキーボタンを押すと、Audio screen を表示します。
3. コントロール・ノブを使用して上下にスクロールし、押すとチャンネルが選択されます。
4. コントロール・ノブを使用して左右に平行移動し、押すとその項目が編集モードになります。
5. コントロール・ノブを使用して、オーディオ・セッティングを進めます。
6. 編集が終了したら、MENU か ALT を押すと、Audio screen を終了します。

ヘッドフォンの設定を調整するには:

警告: PIX-E の 3.5mm ヘッドフォン出力に接続されたヘッドフォンからの大きな音量に注意してください。ヘッドフォンを接続する前に、ヘッドフォン・ゲインを OFF にしておき、適切な音量になるように注意しながらゲインを上げていくことをお勧めします。

1. MENU ボタンを長押しします。
2. HP ソースにタッチします。ヘッドフォンに送りたいオーディオのオプションにタッチします。
3. HP Gain にタッチします。デフォルトでは、0dB に設定されています。
4. MENU を押すと終了します。

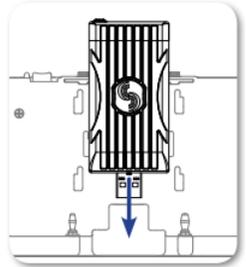
6. メディアの装着とフォーマット

PIX-Eは SpeedDriveとSDメモリーカードを装着することができます。PIX-E5とPIX-E5Hの両方で、映像データの Apple ProRes ファイルは SpeedDrive に保存されます。カスタムセッティングは、SpeedDrive か SDメモリーカード を利用してセーブ／ロードすることができます。

備考：メディアを使用する前に必ず、PIX-E5 か PIX-E5H でフォーマットしてください。

SpeedDrive を装着するには：

1. PIX-EのUSBコネクタ上にも、SpeedDriveのUSBコネクタが位置するように、SpeedDriveの位置を調整します。
2. リテーナークリップを押し込んでから、USBコネクタに差し込まれるようにSpeedDriveをスライドさせます。リテーナークリップがバネで押し出されて、SpeedDriveが固定されます。



SDカードを装着するには：

- PIX-Eの右側面にあるSDカードスロットに、SDカードを挿入します。

メディアをフォーマットするには：

1. フォーマットされるメディアを装着します。SDカードかSpeedDriveが装着されていることを確認します。
2. MENUボタンを押します。
3. コントロール・ノブを操作して、Recorder & Drive > Erase/Re-format Drive を選択します。
4. コントロール・ノブを操作して、フォーマットしたいメディアに関するオプションを選択します。オプションには、SpeedDrive、SD Card、Both drives の3つがあります。
5. フォーマットを実施するまえの確認画面が表示されます。コントロール・ノブを操作して Yes を選択して進めると、オンスクリーン・キーボードが表示されます。
6. デフォルトのネーム(PIX-E)か、任意のボリュームネームをキーボードで入力します。
7. Ok を選択すると、メディアがフォーマットされます。

7. 録画と再生

PIX-E は、Apple ProRes QuickTime (.mov) ファイルを SpeedDrive の中の mSATA SSD メディアに書き込みます。

録画を開始するには:

- REC ソフトキーボタンを押します。

備考: トランスポート・コントロール(REC, STOP, PLAY)が表示されていない時は、ALT を押して、ソフトキー群の機能を切り替えてください。

録画中、REC ソフトキーのラベルは赤く表示され、インフォメーションバーのタイムコードも赤くなります。また、メディアにアクセス中は SpeedDrive のアンバー色のアクセス LED が点灯します。

Info: SpeedDrive のアクセス LED が点灯中に、SpeedDrive を抜かないでください。

録画されたファイルを再生するには:

1. Files ソフトキーボタンを押し、コントロール・ノブを操作してファイルを選択します。
2. Play ソフトキーボタンを押します。再生中、Play ソフトキーボタンは Pause に変わります。再生を停止するための Stop ソフトキーボタンを押すこともできます。

8. モニタリング・ツール

モニタリング・ツールを活用するには:

- 利用したいモニタリング・ツール(例えば、ピーキング表示のために PEAK)のソフトキーボタンを押します。モニタリング・ツールが有効になると、該当するソフトキー・ラベルは緑色で表示されます。

各モニタリング・ツールは、それぞれにおいて詳細設定があります。設定中は、画面の下部にメニューがスーパーインポーズされて表示されます。

モニタリング・ツールの編集・確認するには:

1. モニタリング・ツールに関連するソフトキーボタンを長押しします。
2. タッチスクリーン機能かコントロール・ノブを操作して、関連する設定を編集します。

VIDEO  **DEVICES**